

宇和島 闘牛

UWAJIMA
BULL SUMO



闘牛.com

愛媛県宇和島

年に4回の晴れ舞台



宇和島
UWAJIMA

SHIGOHRIYA

UWAJIMA BULL SUMO

宇和島闘牛に行こう！

宇和島闘牛は「年に4回の晴れ舞台」。制限時間なしで牛同士が戦い、逃げた方が負けというシンプルなルールです。宇和島闘牛では、技は10種に分類され、牛たちはそれぞれに得意技を持ち、多様に技を繰り出します。

宇和島闘牛の歴史は深く、その発祥は17世紀の後半頃、宇和海を漂流していたオランダ船を福浦の漁民が救助し、礼として贈られた2頭の牛がたまたま格闘したことからはじまったという言い伝えや、鎌倉時代に農民が農耕用の強い牛をつくることから自然に野原で牛の角を突き合わせ、これを娯楽にしていたものが起源、という説などがあります。

観客席

全席自由席です。
見やすい席でご観戦ください。

牛の入出場口

土俵の東西にある牛の入出場口。
この対面の席に座ると
牛の入場を正面から観れます。

令和3年度より当面の間、正月場所・五月場所・お盆場所・秋場所の4大会を定期開催していくことが決まった宇和島闘牛。全国各地から熱心な闘牛ファンが、宇和島市闘牛場に足を運びます。1トン級を超える牛たちがぶつかり合い闘いを繰り広げる宇和島闘牛。宇和島観光の最大のみどころのひとつとして、ぜひ一度ご観戦ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております！

勢子(せこ)

宇和島闘牛に欠かせない
危険と隣り合わせの介助人！

牛

体重1トン級の巨体を誇る
宇和島闘牛の主役！
前頭から横綱まで番付がある。

ここが宇和島市営闘牛場！
年に4回の晴れ舞台！

屋根付きドーム型闘牛場

全国に先駆けて昭和50年に完成した
屋根付きドーム型闘牛場のおかげで、
天候に左右されずに大会を開催
できるようになりました。

土俵

牛たちが戦いを繰り広げる土俵。
直径は約20メートル。
最後の一番終了後は
特別に入ることができます。

アナウンス席

試合の実況や入場の掛け声は
土俵すぐそばのここで！

土俵際エリア

関係者以外は立入禁止。
取材陣などはこのエリアから
カメラを構えます。

宇和島闘牛 UWAJIMA BULL SUMO

「闘牛」というと、スペインの闘牛のイメージも強いですが、宇和島闘牛は日本の闘牛、赤い布をはたかせる闘牛士（人間）と牛の戦いではなく「牛相撲」などとも呼ばれる、牛と牛が戦う「突き合い」です。

「逃げた方が負け」というシンプルなルール、制限時間がないので、時には2時間を超える可能性もある牛と牛の戦いに、全国の闘牛ファンが熱狂します。

現在では、愛媛県宇和島市のほかに、島根県隠岐の島町、岩手県久慈市、新潟県小千谷市・長岡市、沖縄県うるま市、鹿児島県徳之島町・天城町・伊仙町で定期的に試合が開催されています。

宇和島闘牛ならではの伝統として、試合での給金（賞金）は「勝牛4割：負牛6割」と決まっています。負けた牛主への慰めの意味があります。



勢子(せこ) 戦う牛に寄り添う勇敢な男たち



闘牛の試合中、危険を顧みず牛を操る役割に立つ者を勢子(せこ)と呼びます。試合における勢子の形態は各地によって異なりますが、宇和島では、牛1頭に勢子1人を原則とし、試合中に勢子が次々と交代していきます。闘牛に欠かせない勢子は、危険と隣り合わせの、牛を勝利へ導く「介助人」です。

宇和島観光闘牛



大会以外でも、事前予約をすれば貸切で取組を観戦できる「観光闘牛」もあります。闘牛観戦だけでなく、取組後に牛はもちろん牛主やスタッフとの記念撮影などのふれあい時間、スタッフによる闘牛の歴史解説もあります。ぜひ団体でご利用ください。

※観光闘牛の詳細は、裏表紙をご覧ください。



はじめての宇和島闘牛観戦記

UWAJIMA BULL SUMO WATCHING GAMES



はじめての宇和島闘牛場!かなり早めに到着。駐車場に車を停めて、入口口へ。チケットは前売券がオススメですが、窓口で当日券も購入可能です。



座席は木のベンチ。長時間の観戦に備えたい観客の方向けに、レンタル座布団の貸し出しがありました。1枚100円。



ちなみに、このじゃこ天が絶品でした!外側は甘い味付け、中身はふわっと柔らかくて美味しかったです。オススメです!



お客さんも増え、観客席も埋まってきました。いよいよ宇和島闘牛定期大会開催です!



もぎりでチケットを見せ、いざ入場!入場時に当日の「取り組み表」をもらっておきましょう。



闘牛場内には売店があります。ここでお弁当などを購入して、観戦しながら楽しむのが醍醐味ですね!



当日のバックヤードは、牛たちと牛主さんたちが待機。静かに対戦を待つ牛、闘志みなぎる牛など、牛たちの性格も様々。



さあ!試合開始。まずは「封切戦」です。制限時間なし・逃げたら負けの一本勝負。



席は全席自由席。この日は午前10時頃に会場へ入ったので、まだ人も少なく、好きな席を確保できました。試合開始は昼12時から。



「おでん」と宇和島名物「じゃこ天」を、売店で購入して腹ごしらえ。正月場所だったので、あたたかいおでんが沁みました。



試合が行われる「土俵」。大会開始前の時間帯に、出場する牛たちが一頭ずつ慣らすように土俵に入ります。



牛と牛がぶつかり合う音が、会場に響き渡ります。生で見ると迫力がスゴイ!



勝負あり!細かい技までは判別しにくいですが「逃げたら負け」の、勝負が決まる瞬間は初心者にもわかります!



土俵の東西にある「牛の入場口」の向かい側の席に陣取れば、牛の入場シーンを毎回正面から楽しめます。



土俵近くにあるアナウンス席。試合の実況・解説や入場の掛け声を、名物アナウンサーさんが流し声でアナウンスしてくれます。



ついに決着!本当によい試合でした。みごと勝利した横綱は土俵の権へ。最終試合後は、観客も土俵内へ入ってOK!

というわけで、初めての宇和島闘牛観戦!予想以上に大満足でした。会場の雰囲気、生で観戦する迫力、売店の食事やお土産など、すべてを満喫しました。年4回の晴れ舞台!一度は見たい宇和島闘牛!みなさまのご来場をお待ちしております!

宇和島闘牛を見に行こう!

大会スケジュール・前売券購入方法など詳細はHPをご確認ください



UWAJIMA BULL SUMO WATCHING GAMES



大事に育てた家族のような牛が勝利して、牛主さんたちが涙をにじませている姿はなかなか感動的でした。



白熱する正月場所!次々に試合が行われていきます。小結・関脇・大関・横綱の順に試合が進むのは相撲と同じ。



実際に会場で試合を観戦すると、牛たちはそれぞれに個性的。すべての試合にドラマを感じます。



土俵内に入って、横綱に触れたり記念撮影をしたり。横綱のファンサービスタイム。これにて大会は終了です。



勢いよく土俵入りする牛!間近で観戦してみると、土俵近くは本当に危険。興奮した牛が柵に突進する場面もありました。



左頁でもご紹介した「勢子(せこ)さん」。激しく戦う牛に触れながら試合を導く様子は、見るからに危険で信じられないくらいです。スゴイ!



いよいよ締めの大一番!横綱戦です。さすが、横綱は貫禄も強さも違います。この最後の横綱同士の試合が一番面白かったです。



会場を出る前に寄りたいのが、観戦後の「お土産売場」。闘牛にちなんだ民芸品や過去大会のDVDなどが購入できます。

宇和島闘牛のルールと基本技

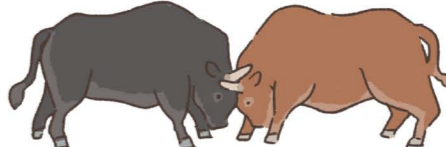


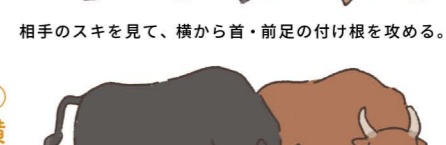








宇和島闘牛のルール

宇和島闘牛では「取組時間は無制限(制限時間なし)」。鼻網なしで全力で戦い「逃げた方が負け」となります。
※全国各地で多少ルールが異なりますが、宇和島は上記とおりです。

宇和島闘牛の基本技

宇和島闘牛では、基本技を下記の「10種」に分類しています。

- ① 押し  土俵の中で、力いっぱい押し合う。基本の技。
- ② 向う突き  真っ向から相手の顔を突き攻める。
- ③ ヒラ  相手のスキを見て、横から首・前足の付け根を攻める。
- ④ 横掛け  大きく横に回り込み、相手の脇腹横を突く。
- ⑤ 寄り込み  土俵際で、一気に相手を柵に押し込む。
- ⑥ 受け返し  相手の突きを待ち、それを外して首を傾け、逆に攻める。
- ⑦ もたしこみ  首を相手の頭にもたせかけ、相手の攻め手を防ぐ。
- ⑧ チャツリ  小さく角を上下させ、相手の頭の真っ向から攻める。
- ⑨ さび込み  頭・のど下から連続的に、相手の首前を浮かせて突く。
- ⑩ もみこみ  角でキリモミのように、相手の頭を握るように突く。

宇和島闘牛大会

※宇和島闘牛には「定期闘牛大会(年4回)」と「観光闘牛」の2種類があります。

定期闘牛大会

- 定期大会(年4回)
 - ・正月場所: 1月2日
 - ・五月場所: 5月3日
 - ・お盆場所: 8月14日
 - ・秋場所: 10月第4日曜
- 開催時間
12:00～14:00頃(開場10:00～)
- 入場料
大人・高校生 3,000円
(前売券 2,500円)
65歳以上・障がい者 2,000円
中学生以下 無料
※前売券のインターネット予約は「闘牛.com」で受付中です。
- 駐車場
大会当日のみ 臨時駐車場 500台(無料)
- 無料送迎バス(10:00～12:00頃)
往路 バスセンター発～JR宇和島駅南經由～闘牛場
復路 試合終了後闘牛場より発車

年に4回の晴れ舞台 / 正月場所・五月場所・お盆場所・秋場所

観光闘牛

- 開催日時
ご希望の日時に開催できます。
※基本は土日のみ受付可能。平日のご希望にはお応えできない場合がございます。
※ご希望の日程に添えない場合もございますので、ご了承くださいませ。
※闘牛大会が開催される月などは都合によりお断りする事もございますので、ご了承ください。
 - 開催料金
1 結: 66,000円(税込)
2 結: 132,000円(税込)
※観戦人数に上限はございません。
- お申し込み・お問い合わせ
- 宇和島市営闘牛場
☎0895-25-3511 (8:30～17:00)

その他

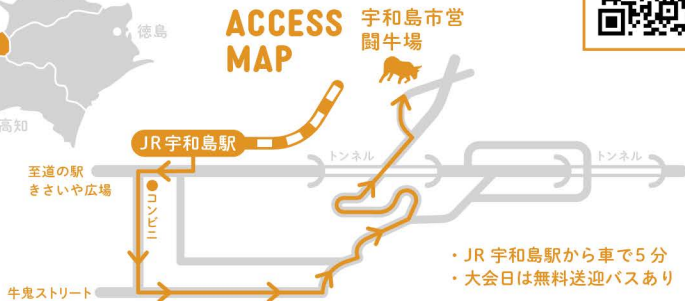
- 施設見学
闘牛場は見学無料です。場内では闘牛グッズや大会のDVD等も販売中です。
※大会日以外は牛はおりません。
- 開場時間 8:30～17:00
休 場 日・土・日・祝・施設使用日など

※各詳細・最新情報は、宇和島闘牛公式サイト「闘牛.com」でご確認ください。

<https://www.tougyu.com/>



ACCESS MAP



- ・JR 宇和島駅から車で5分
- ・大会日は無料送迎バスあり



宇和島闘牛ガイドブック

発行元 / 宇和島市観光物産協会
〒798-0060 宇和島市丸之内5丁目1の4
宇和島市観光情報センター シロシタ内
☎ 0895-49-5700

うわじま観光ガイドホームページ

<https://www.uwajima.org/>



Design & Illustration map by *メルカトデザイン*